

おじゃまします！

文責：徳永哲郎（地域学校コーディネーター）

2019.1.25 No.6

一中の生徒会役員選挙

12月6日、一中の生徒会役員選挙がありました。投票箱は市選管の実物で、投票年齢が18歳になったのを受けた体験学習の場でもありました。2年生の約3分の1が立候補したとのことで、彼らの熱い思いに触れ、非常に頼もしく思いました。生徒会活動はまちづくりの土台を築くものです。願いの実現を支援するために、地域に公開することも有効かと思いました。（演説の要旨は下表）



壇上にズバリ！立候補した皆さん



後ろ姿に学校づくりへの真剣な思いが



本当は仕切りの間で書くのですよ

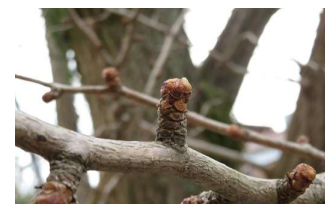
会長・副会長・書記会計に立候補した生徒たちの訴え（要旨）と発言数

めざす学校像		生徒に求める資質		具体的な方策	
より良い学校	4	一体感	4	あいさつ	5
楽しい学校	2	自己改革	2	行事の充実	3
安全安心な学校	2	(リーダーの) 統率力	2	意見箱の活用	2
活気がある 達成感を味わえる 明るい 人にやさしい 大きなことが実現できる	各 1	向上力・レベルアップ・目標を持つ・メリハリ・違いを認め合う・本当の気持ちで接する・仲間との協力・個を大切に・不安や悩みの共有・信頼・伝え合う	各 1	生徒の意見を生かす メディアリテラシー 小学校との連携 キャンペーン 標語づくり	各 1

「亥年」に思う ～かたい話です～

今年の干支「亥」の漢字は豚の骨を表しています。そこから「核」（実の中心部分）「刻」（硬いものを切る）「効」（ゆるみを正す）など、硬くしっかりした様子を表す漢字が生まれました。また「咳」は「せきをする」「幼児が笑う」の意義があり、昔の人は体の中から出てくるものに確かな力があると考えていたようです。そして、草や木の種の中に生命力が閉じ込められていて、命を次の世代へとつないでいく大切な準備期間と考えていたのです。

こう書くと、平成が終わろうとする今と重ねて考えた方が多いと思いますが、タレントの美輪明宏氏が「元号は後で人間が決めたもの。人の命はその前からずっと引き継がれてきた。」とコメントしているのを何かで見ました。「平成最後の」という言葉に気を取られず、今をしっかり見つめ、確かな未来をめざしたいと思います。



イチョウの木の芽(2019.1.15 上道小)